

# ねりまの文化財

## 平成18年度 新規登録文化財の紹介

平成19年2月26日、練馬区文化財保護条例に基づき、新たに「中村南遺跡第2地点5号住居址出土土器」など6件を登録文化財としました。これで、区の登録文化財は有形文化財87件、無形文化財2件、有形民俗文化財36件、無形民俗文化財25件、史跡14件、名勝1件、天然記念物9件の合計174件になりました。このうち重要なもの38件が指定文化財です。

指定、登録文化財は学識経験者で構成される練馬区文化財保護審議会の意見に基づき、所有者の同意を得て教育委員会が決定しています。

自然破壊や伝統的な風俗・慣習の衰退が進む中、文化遺産を守り伝えていくことは、地域文化の創造のために欠かせないことです。練馬区が豊かな文化都市となるよう、これからも文化財の保護・活用に努めて参ります。

### 中村南遺跡第2地点

### 5号住居址出土土器(一括)

登録有形文化財

- 所有者 練馬区
- 所在地 石神井図書館地階

郷土資料室

区立(仮称)豊玉・中村地域交流スペースセンター(中村南一丁目2番)建設に先立ち、平成16年の発掘調査で出土した縄文土器6点です。いずれも5号住居址の床面などから出土した中期(四五〇年前)の土器です。写真左上は浅い鉢の土器です。写真右下は、台付浅鉢形土器で、形態的にも珍しく、都内でも出土例が少ないものです。

練馬区教育委員会  
生涯学習課  
(文化財係)  
☎3993-1111  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1



### 田中家の種子屋資料(一括)

登録有形文化財

- 所有者 個人蔵
- 所在地 北町5丁目

江戸時代の文化・文政期(一八〇四〜一八三〇)頃から昭和初期まで、下練馬地域で種子屋を営んだ田中家に伝わる資料です。明治29年(一八九六)から昭和初期の383点が残されています。

文書類では、東京種子同業組合の成立や営業に関わるもの、練馬沢庵大根の種子などの栽培方法を記したものなど、地域の様相を伝える資料が残っています。その他、看板、営業案内、種子袋、種子袋見本帳、野菜類の写真、店の図面などの資料があります。



練馬区指定文化財一覧

年度	名称	登録年度
元	小島家文書	昭和62年度
2	北条氏康印判状	昭和63年度
3	町田家文書	昭和63年度
4	中里の富士塚	昭和63年度
5	大八車	昭和63年度
6	服部半蔵奉納の仁王像	昭和63年度
7	長命寺仁王門	昭和63年度
8	春日町出土の壺形土器	昭和63年度
9	妙福寺文書	平成3年度
10	尾崎遺跡出土品	平成3年度
11	下練馬の大山道標	平成3年度
12	下練馬の富士塚	平成3年度
13	豊島氏奉納の石燈籠	昭和62年度
14	水川神社富士塚	平成2年度
15	鶴の舞	平成2年度
16	御府内井村方日記	平成3年度
17	北町聖観音座像	昭和62年度
18	井口家文書	平成5年度
19	井口家文書	平成6年度
20	井口家文書	平成7年度
21	長享二年の申待板碑	昭和61年度
22	練馬東小学校のフジ	平成6年度
23	石幢七面六観音勢至道しるべ	昭和62年度
24	長命寺の梵鐘	昭和61年度
25	三宝寺の梵鐘	昭和61年度
26	妙福寺の梵鐘	昭和62年度
27	圓庵・十王像と檀拵輪	昭和63年度
28	千川家文書	平成9年度
29	丸山東遺跡出土の木製品	平成8年度
30	本寿院のみくじ道具	平成7年度
31	小美濃英男家文書	平成7年度
32	相原家薬医門	平成2年度
33	関のかんかん地蔵	昭和63年度
34	金乗院御朱印状	昭和63年度
35	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	昭和63年度
36	井頭のヤナギ	平成元年度
37	神輿渡御行列図絵馬	平成12年度

練馬区登録文化財一覧 (有形文化財)

年度	名称	所在地・所有者等
昭和61年度	1 長命寺の梵鐘	高野台3-10 長命寺
昭和61年度	2 三宝寺の梵鐘	石神井台1-15 三宝寺
昭和61年度	3 北条氏康印判状	石神井台1-16 道場寺
昭和61年度	4 *1長享二年の申待板碑	(欠番)
昭和62年度	5 服部半蔵奉納の仁王像	高松3-19 御藏神社
昭和62年度	6 豊島氏奉納の石燈籠	石神井台1-18 水川神社
昭和62年度	7 石幢七面六観音勢至道しるべ	中村3-11 良弁塚
昭和62年度	8 双蝶々曲輪日記図絵馬	(管理者)南蔵院
昭和62年度	9 牛若丸・弁慶図絵馬	高野台3-10 長命寺
昭和62年度	10 妙福寺の梵鐘	高野台3-10 長命寺
昭和62年度	11 小島家文書	南大泉5-6 妙福寺
昭和62年度	12 南蔵院鐘樓門	郷土資料室(所有者)小島正史
昭和62年度	13 水川神社の旧拝殿	中村1-15 南蔵院
昭和62年度	14 榎本家長屋門	豊玉南2-15 水川神社
昭和62年度	15 水川神社の水盤	南田中4-13 榎本悦
昭和62年度	16 角柱型水盤	石神井台1-18 水川神社
昭和62年度	17 圓庵・十王像と檀拵輪	水川台4-47 水川神社
昭和62年度	18 水川神社の狛犬	大泉町6-24 教学院
昭和62年度	19 町田家文書	水川台4-47 水川神社
昭和62年度	20 伊賀衆奉納の水盤・鳥居	東大泉7-27 町田和雄
昭和62年度	21 長命寺仁王門	大泉町5-15 水川神社
昭和62年度	22 加藤家文書	高野台3-10 長命寺
昭和62年度	23 妙福寺文書	土支田4-45 加藤正八
昭和62年度	24 春日町出土の壺形土器	南大泉5-6 妙福寺
昭和62年度	25 *2旧震災復興仮設住宅	郷土資料室
昭和62年度	26 尾張殿廣場碑	(解除)
昭和62年度	27 相原家薬医門	大泉町3-16 大泉第一小学校
昭和62年度	28 横山家文書	田柄5-8 相原延寿
昭和62年度	29 新井家文書	高野台1-7 横山茂樹
昭和62年度	30 縄文時代の竹カゴ	桜台3-35 新井忠之
昭和62年度	31 金銅製飾具	郷土資料室
昭和62年度	32 尾張殿廣場碑	郷土資料室
昭和62年度	33 宮田橋敷石供養塔	郷土資料室
昭和62年度	34 下練馬の大山道標	高松2-3 (管理者)練馬区
昭和62年度	35 紙本着色以天宗清像	北町1-38 北町児童遊園
昭和62年度	36 紙本着色明叟宗普像	(管理者)練馬区
昭和62年度	37 紙本着色明叟宗普像	桜台6-20 廣徳寺
昭和62年度	38 土支田八幡宮の半鐘	桜台6-20 廣徳寺
昭和62年度	39 土支田八幡宮	土支田4-28 土支田八幡宮

年度	名称	所在地・所有者等
平成3年度	39 阿弥陀寺の半鐘	練馬1-44 阿弥陀寺
平成3年度	40 御府内井村方日記	平和台1-32 内田義康
平成3年度	41 尾崎遺跡出土品	春日町5-12 春日小学校
平成3年度	42 尾崎遺跡資料展示室	尾崎遺跡資料展示室
平成3年度	43 莊家文書	郷土資料室(所有者)莊半蔵
平成3年度	44 増島家薬医門	谷原3-19 増島一平
平成3年度	45 井口家文書	開町北2-7 井口正利
平成5年度	46 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	47 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	48 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	49 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	50 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	51 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	52 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	53 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	54 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	55 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	56 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	57 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	58 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	59 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	60 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	61 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	62 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	63 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	64 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	65 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	66 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	67 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	68 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	69 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	70 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	71 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	72 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	73 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	74 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	75 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	76 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	77 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	78 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室
平成5年度	79 比丘尼橋遺跡出土の旧石器	郷土資料室





● ● 所有者 宗教法人 円明院  
所在地 錦1-19

関東大震災で、上毛モスリン株式会社練馬工場（練馬駅の北側にあった）が倒壊し、亡くなった女性8名と男性1名の従業員の菩提を弔（とむら）うため、大正13年（一九二四）に建てられた慰霊碑です。  
高さ105cm、幅62cm、厚さ14cmで、正面に「大震災横死者吊魂碑」（だいしんさいおうししやちようこんひ）と刻まれています。  
関東大震災の被害状況がわかる資料です。

関東大震災犠牲者

慰霊碑（一基）  
登録有形文化財



● ● 所有者 宗教法人 八幡神社  
所在地 高松1-16

神奈川県の大山を信仰する貫井・高松地域の人たちにより、享和3年（一八〇三）に建てられた不動明王像です。  
像高47cm、総高213cmです。  
像は、高肉彫りで、両眼を開き、左手に絹索（けんさく）・煩惱を縛り上げる道具）と右手に宝剣を持ち、火焰光背（かえんこうはい）を背に角柱形の塔にのる岩座に座しています。  
この地域の民間信仰の様相を伝えます。

八幡神社の石造大山

不動明王像（一基）  
登録有形民俗文化財



● ● 所有者 宗教法人 稲荷神社  
所在地 富士見台3-42

長野と岐阜の県境をまたぐ御嶽山を信仰する谷原村・上練馬村の人たちにより、明治7年（一八七四）に奉納された石造の水盤です。  
高さ47cm、幅93cm、奥行46cmで、正面に「奉納」の文字と木曾御嶽神社の神紋（じんもん）が彫刻されています。  
かつて盛んだった御嶽信仰の地域の様子がわかる資料です。

御嶽講奉納の水盤（一基）

登録有形民俗文化財



● ● 所有者 宗教法人 観蔵院  
所在地 南田中4-15

観蔵院で塾を開いていた権大僧都法印日傳（こののだいそうずほういんにちでん）が宝暦12年（一七六二）に亡くなったことを偲（しの）んで、筆子（筆子）たちが建立した筆子碑です。  
高さ82cm、幅28cmで、聖観音立像が彫られています。練馬区内でも古い筆子碑です。

観蔵院の筆子碑（一基）

史跡

文化財をご覧になるときは、所有者や周囲の方々の迷惑とならないよう配慮ください。また公開されていないものもありますので、ご注意ください。